

平成 27 年 11 月 10 日

各 位

株式会社バルクホールディングス
代表取締役社長 大竹 雅治
(コード：2467 名証セントレックス)
問合せ先 取締役管理本部長 五十嵐 雅人
(TEL 03-5649-2500)

平成 28 年 3 月期第 2 四半期連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 27 年 5 月 15 日に公表いたしました平成 28 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間（平成 27 年 4 月 1 日～平成 27 年 9 月 30 日）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 28 年 3 月期第 2 四半期連結業績予想数値の修正（平成 27 年 4 月 1 日～平成 27 年 9 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A) (平成 27 年 5 月 15 日公表)	百万円 1,090	百万円 19	百万円 20	百万円 11	円 銭 1.54
今回修正予想 (B)	1,225	42	44	31	4.21
増減額 (B - A)	134	23	24	20	
増減率 (%)	12.3	122.5	118.6	174.5	
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 27 年 3 月期第 2 四半期)	952	△1	0	△3	△0.53

2. 修正の理由

売上高につきましては、特にマイナンバー対応や情報セキュリティ対策に関するニーズの高まりを受けてコンサルティング事業の受注が好調であったほか、グループ全体として、既存顧客及び新規顧客への積極的な営業活動、新サービスの提供などによる差別化戦略に取り組んだ結果、全事業において、当初予想を上回る見込みとなりました。

営業利益以下の各段階利益につきましても、販管費削減の大幅な前倒し及び生産性向上施策の進捗が寄与したことにより、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益ともに当初予想を上回る見込みとなりました。

なお、平成 28 年 3 月期通期の連結業績予想につきましては、競合の激化や仕入・外注コストの上昇などが懸念されるほか、現時点では不確定要素を多く含んでいるため、平成 27 年 5 月 15 日に公表いたしました予想数値である売上高 2,100 百万円、営業利益 45 百万円、経常利益 46 百万円、親会社株主に帰属する当期純利益 30 百万円を据え置くことといたしますが、今後の業績推移に応じて修正が必要と判断した場合は、速やかに開示いたします。

(注) 上記の業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上